

映画上映会 & 交流会

「小児がん」への理解を広げよう！

小児がんの子どもたちと家族を応援ください！

国際小児がんデーは、小児がんへの意識向上と小児・AYA世代がん患者とその家族への支援を表明する協働キャンペーンです

日本では約2,000-2,500人の子どもたちが、小児がんと診断されています。医療の向上により、70~80%の子どもたちが治療を終えることができるようになっていますが、未だ病死順位の1位は小児がんであり、さらなる医療やトータルケアの向上が求められています。



・2024年2月11日(日) 10:00~11:50

・東桜会館 第2会議室 (名古屋市 地下鉄「新栄」「高岳」駅徒歩5分)

・映画「四つの空 いのちにありがとう」

・参加費無料~ どなたでもご参加できます

・事前予約要~ 右記QRコード、
(定員80名) 守る会東海支部サイトより



当日の予定プログラム

■ドキュメンタリー映画 「四つの空 いのちにありがとう」

4組の家族の「小さいいのちの物語」です。

長女を亡くした父親が語り継ぐ、いのちの授業とは。

小学6年生で白血病を発病した大学生が抱く夢とは。

老舗料理店の女将、その笑顔の向こうにある思いとは。

体重326グラムで生まれた少女から発せられる生きる力とは。

いのち、家族、生きる、本当に大切なことをみつめます。



予告版 YouTube 4分

- ・監督:杉本幸雄、2013年公開、76分
- ・制作:NPO法人いのちをバトンタッチする会

出演者



鈴木 中人

普通の会社員だった。長女（当時6歳）を3年間闘病して小児がんで亡くす。「殺した」との自責の念、逆縁の悲嘆に沈む。やがて、何の当てもなく会社を辞めて「いのちの授業」をはじめ。8年間で15万人の心を響かせる。

何を思い人生を変えたのか？ 語り継ぐ「いのちのメッセージ」とは？



高橋 真依

小学6年生で白血病を発病。辛い病床で思う、「優しい看護師さん。私も、いつか看護師として病気の子もたちの“いのち”を支えたい」と。しかし、中学3年生のときに後遺症（骨の壊死）が、さらに高校3年生でパセドー病が判明。

どのように夢に向き合おうとしているのか？ そのとき家族は？



小出 朋子

創業明治28年の老舗料理店に嫁ぐ。不妊治療8年、やっと授かった“いのち”は重度障がい児だった。泣くだけ泣いた、「娘にも普通の世界をみせたい」。女将として働きながら合唱団や車いすダンスにも通い一人娘を育てる。

娘と家族、支えてくれる人への感謝、その笑顔の向こうにある思いとは？



吉岡 生未

妊娠23週での緊急出産。医師は父親に伝える、「最悪のことを覚悟してください」と。体重326グラムの女の子は“奇跡のいのち”を授かる。「未」来を「生」きてほしいと、生未と命名。今、障がいを背負いながらも普通小学校に通学。

少女の存在から発せられる生きる力とは？ 見守る家族の願いは？

■交流会

参加の方々と、映画の感想や、小児がんの治療療養・学校・グリーフの分かち合い などについて語ります。コーディネーター：鈴木中人